

施策名：県民の命と暮らしを守る県土の強靱化の推進

事業名	担当課・室名	ページ
田んぼダム流域実証事業	農村基盤整備課	1 / 7
中小河川等洪水時避難行動支援事業	河川課	1 / 7
洪水時河川情報提供事業	河川課	1 / 7
河川情報整備支援事業	河川課	2 / 7
河川事業	河川課	2 / 7
(公) ため池等整備事業	農村基盤整備課	2 / 7
道路防災事業	道路保全課	3 / 7
土砂災害避難促進事業	砂防課	3 / 7
(公) 土砂災害警戒区域等調査費	砂防課	3 / 7
砂防事業	砂防課	4 / 7
生活基盤施設耐震化等交付金事業	環境保全課	4 / 7
漁港施設機能強化事業	漁港漁村整備課	4 / 7
道路施設補修事業	道路保全課	5 / 7
住宅耐震化総合支援事業	建築住宅課	5 / 7
特定建築物等耐震対策促進事業	建築住宅課	5 / 7
衛生画像活用水道管漏水調査支援事業	環境保全課	6 / 7
安全・安心を支えるインフラ点検事業	建設政策課	6 / 7
地域の安心基盤づくりサポート事業	建設政策課	6 / 7
港湾施設点検ドローン活用推進事業	港湾課	7 / 7

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
1	田んぼダム流域実証事業 (R4 ~ R5) 農村基盤整備課 流域治水の一環として水田の持つ雨水貯留機能を活用するため、流域治水プロジェクトに取り組む地域ごとに「田んぼダム」の洪水調節機能の実証を行う。	①モデル地区での実証試験の実施 排水柵への調整装置付き堰板設置による田んぼダムの洪水調節機能の検証 ・実施地区数：11地区 ②推進パンフレットの作成 ③水田の畦畔補強の実施 貯留効果を十分に発揮できていない水田の畦畔補強の実施 ・実施延長：0.5km	① 9,468 ③ 40	田んぼダム実証モデル地域設定 [地区]	目標値	10	10		A	
			② 492 ④		実績値	9	11			
			主な活動指標と達成率		達成率	90.0%	110.0%			
			地元説明会の開催回数	目標値	10	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 2か年の実証により、ピーク時の排水量平均25%の抑制効果を確認した。また、聞き取りを行った全ての農家から、「品質・収量へは特に影響なし」と回答があった。これらを踏まえ、田んぼダムの効果を分かりやすくまとめた推進パンフレットを作成した。 さらに、令和5年8月には市町を主体とする田んぼダム推進部会を設立し、推進体制の構築を図った。 当初の目的を果たしたことから、当該事業は終了するが、今後も、パンフレット配布や意向調査などを通じて、農家への理解・協力を求めるとともに、田んぼダムの取組を県下全域に展開していく。				
			[回]	実績値	11					
			目標値							
			実績値							
予算額 (うち翌年度繰越額) 10,000 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 10,000 (0)				達成率						
2	中小河川等洪水時避難行動支援事業 (R3 ~ R7) 河川課 洪水発生時の住民的的確・確実な避難行動を支援するため、市町村が行う洪水ハザードマップの作成に要する経費に対し助成する。	①洪水ハザードマップ作成支援 洪水時の住民的的確・確実な避難行動を支援するため、国・県が作成した中小河川における氾濫推定図の現地踏査等による確認、市町村が作成する洪水ハザードマップの作成委託に対する支援	① 33,226 ③	洪水ハザードマップ作成 [市町]	目標値	5	7	7	A	
			②		④	実績値	0	7		-
			主な活動指標と達成率		達成率	0.0%	100.0%	-		
			洪水ハザードマップ作成補助	目標値	7	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 本年度は、国が作成した122河川における氾濫推定図の現地踏査等による確認及び豊後高田市、国東市、別府市、由布市、竹田市、玖珠町、日出町の7市町のハザードマップ作成補助を実施した。 来年度以降も、残りの市町の洪水ハザードマップの作成に要する経費を助成し、住民的的確・確実な避難行動に繋げ、水害による人的被害の防止に寄与する。				
			[市町]	実績値	7					
			目標値							
			実績値							
予算額 (うち翌年度繰越額) 50,815 (17,589) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 33,226 (29,815) (0)				達成率						
3	洪水時河川情報提供事業 (R4 ~ R5) 河川課 河川水位上昇時の住民の確実な避難行動を支援するため、水防警報発令システムを構築するとともに、災害対応支援システムやおおいた防災アプリとの連携による発令状況の見える化に取り組む。	①水防警報発令システム構築 ・県による水防警報の発令をシステム化し、発令時間の短縮を図ることで、水防団の出動や市町村災害対策本部による避難情報発令の迅速化を促進する。 ・水防警報発令システムとおおいた防災アプリを連携し、住民へ避難情報等を早期に伝達	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針		近年の気候変動により豪雨被害が多発している中、水防警報発令に関する一連の作業をシステム化し、関係機関との情報伝達・共有を迅速かつ的確に行うとともに、避難情報を早期に発信する体制を整えることができた。 住民の早期避難を促進するシステム環境を整備でき、当初の事業目的を達成したことから、当該事業は終了する。					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 48,653 (0) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 48,653 (24,326)									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																											
4	河川情報整備支援事業 (R4 ~ R6) 河川課 河川水位上昇時の住民の的確・確実な避難行動を支援するため、県管理河川に監視カメラ等を設置する市町に対し助成する。	①河川情報整備 市町が県管理河川に新設する監視カメラ等の導入やサーバーの改修に要する費用を助成 ・補助率 : 1/2 ・補助上限：監視カメラ新設 500千円 サーバー改修 1,000千円	これまでに、河川の増水時や夜間の水位確認、避難予測等を安全に行うため、5基の監視カメラ設置等に対し助成した。 引き続き、住民の的確・確実な避難行動に資する取組を支援する。																											
	市町支援状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カメラ等設置数 (うち繰越)</td> <td>25</td> <td>5 (2)</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サーバー設置数 (うち繰越)</td> <td>1</td> <td>1 (1)</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度		令和5年度		令和6年度		目標	実績	目標	実績	目標	実績	カメラ等設置数 (うち繰越)	25	5 (2)	25	0	25	-	サーバー設置数 (うち繰越)	1	1 (1)	6	0	5	-	
		令和4年度		令和5年度		令和6年度																								
		目標	実績	目標	実績	目標	実績																							
カメラ等設置数 (うち繰越)	25	5 (2)	25	0	25	-																								
サーバー設置数 (うち繰越)	1	1 (1)	6	0	5	-																								
予算額 (うち翌年度繰越額) 2,505 (0)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 1,786 (1,786) (0)																													

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針	
5	河川事業 (~) 河川課 水害から県民の命と暮らしを守るため、河川改修や堆積土砂の除去を実施する。	①(公)広域河川改修事業 玖珠川、野上川ほか ②(公)治水ダム建設事業 安岐ダムほか ③(単)河川海岸改良事業 桂川ほか ④(単)緊急河床掘削事業 大分川ほか ⑤(公)河川緊急情報基盤整備事業 県内一円 ⑥(公)障害防止対策事業 大分川 ⑦(公)ダム情報基盤総合整備事業 県内一円 ⑧河川施設災害防止緊急対策事業 八坂川ほか	掘削・築堤・護岸・橋梁等 放流設備等 築堤・護岸・樋管等 河床掘削 水位観測設備更新等 護岸等 情報網整備等 掘削・護岸等	令和5年度には津久見川河川激甚災害対策特別緊急事業が完了するなど、河川改修等を実施することにより、洪水や台風等の災害による浸水被害の防止・軽減が図られ、住民の安心・安全な暮らしに寄与した。 今後は、洪水により浸水被害が発生した安岐川流域の抜本的な治水対策として、現在の安岐ダムを活用し、堤体のかさ上げ等を行う安岐ダム再生事業に着手する。
	予算額 (うち翌年度繰越額) 15,467,675 (5,969,919)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 9,497,756 (6,043,868) (2,758,434)	実施状況	
			令和4年度 令和5年度	
			浸水対策が行われた地区数 [地区]	79 84

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針	
6	(公)ため池等整備事業 (H20 ~) 農村基盤整備課 ため池決壊の未然防止を図るため、ため池の改修等に取り組む。	①防災重点農業用ため池等整備事業 ・継続：魚ヶ鼻池（宇佐市）ほか55地区 ・新規：樋掛（豊後大野市）ほか7地区 ②防災重点農業用ため池等調査計画事業 ・劣化状況評価や耐震調査等を実施（県内一円）	令和5年度までに、防災重点農業用ため池1,027箇所のうち400箇所のため池を改修し、人命や農地、財産への被害の未然防止を図った。 自然災害が頻発化、激甚化するなか、下流人家等への被害を防止するため、防災重点農業用ため池の計画的な改修を進める。	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 5,981,072 (2,372,417)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 3,608,655 (2,691,461) (2,241,296)	[整備済み量]	
			令和4年度までの改修地区数 令和5年度新規改修地区数 令和5年度までの改修地区数	(参考) 令和5年度改修地区数
			392地区 8地区 400地区	64地区

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
7	道路防災事業 (~) 道路保全課 道路ネットワーク及び利用者の安全を確保するため、防災拠点等を結ぶ啓開ルートや孤立集落対策区間における道路法面の崩壊・落石対策を重点的に実施する。	①(公)道路防災事業：国道212号ほか 全27箇所 ②(単)道路防災事業：国道442号ほか 全84箇所	防災拠点等を結ぶ緊急輸送道路や孤立の恐れがある集落へ通じる道路等について、法面の崩壊・落石対策など道路防災施設の整備を進めた。 今後も、災害に強い安全な道路ネットワークの確保に向け道路防災対策を推進する。				
		実施内容	要対策箇所数	令和5年度対策数	令和5年度末対策完了(累計)	令和5年度末対策率	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 3,559,996 (770,648) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 2,789,348 (1,200,927) (990,861)	緊急輸送道路上の法面対策 761 上記のうち、最優先啓開ルート上の法面対策 59 孤立集落対策(道路法面) 299 上記のうち、迂回路なし 33	1 0 1 0	396 59 129 33	52.0% 100.0% 43.1% 100.0%		

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額		成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
8	土砂災害避難促進事業 (R3 ~ R5) 砂防課 土砂災害警戒区域等に指定された地区について、幅広く地域住民等への周知を図るため、土砂災害警戒区域の標識設置を行うとともに、市町村が行う土砂災害ハザードマップへの作成委託に要する経費に対し助成する。	①土砂災害警戒区域等の標識設置 幅広く地域住民等への周知を図るため、土砂災害警戒区域に標識を設置：3,244箇所（設置済） ②実効性のある避難行動を確保する避難訓練等の支援 ・土砂災害警戒区域がある自治区等に専門家を派遣し実施するハザードマップの再点検、地区タイムラインの作成、避難訓練等の支援 ・避難行動の促進を図るポスター・チラシ等の配布 ③土砂災害ハザードマップ作成経費の助成 土砂災害警戒区域等に指定された地区におけるハザードマップ作成委託に係る市町村への助成：11市	① 33,805 ③ 1,440	土砂災害ハザードマップ作成数	目標値 2,700 実績値 2,543 達成率 94.2%	2,700 2,970 83.0%	令和6年度 評価	C		
			② 6,471 ④						[区域]	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 62,075 (20,359) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 41,716 (31,500) (17,623)	土砂災害ハザードマップを活用した避難訓練実施数 [地区] 目標値 12 実績値 6 達成率 50.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 前年度を上回る土砂災害ハザードマップの作成実績を達成することができたものの、土砂災害警戒区域指定数が少なかったことにより、目標値に届かなかった。 これまでの取組に加え、土砂災害のおそれのある砂防指定地等の情報をインターネットで公開する整備等を進め、土砂災害情報のさらなる発信・周知を行うため、令和6年度からは、「土砂災害情報周知啓発推進事業」を実施する。							

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
9	(公)土砂災害警戒区域等調査費 (R2 ~) 砂防課 土砂災害に対する警戒避難体制の整備を図るため、土砂災害警戒区域の周辺地域等において基礎調査を行う。	①(公)土砂災害警戒区域等調査費 土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域等の指定に必要な基礎調査を実施 県内一円 440箇所	令和元年度までに調査が完了した19,640の土砂災害危険箇所については、令和2年度までに区域指定を完了することができた。 加えて、土砂災害警戒区域の周辺地域等における基礎調査に計画的に取り組み、令和5年度は目標を達成した。 引き続き、基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を着実に進める。				
			予算額 (うち翌年度繰越額) 701,802 (350,410) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 351,392 (117,131)	目標指標	進捗状況	令和4年度	令和5年度
	土砂災害警戒区域調査箇所数 [箇所]	目標値 570 実績値 570 達成率 100.0%	440 440 100.0%	380 - -			

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																								
10	砂防事業 (~) 砂防課 土砂災害から県民の命と暮らしを守るため、砂防施設を整備する。	①(公)通常砂防事業 申ヶ迫川 ほか 103溪流 (砂防えん堤、溪流保全工) ②(公)火山砂防事業 専道川 ほか 48箇所 (砂防えん堤、溪流保全工) ③(公)地すべり対策事業 乙原地区 ほか 7地区 (集水井工、鋼管杭工) ④(公)急傾斜地崩壊対策事業 石場地区 ほか 142地区 (擁壁工、法枠工) ⑤(公)特定緊急砂防事業 須久保川二支溪 (溪流保全工) ⑥(公)特定緊急地すべり対策事業 柏野地区 (鋼管杭工) ⑦(単)砂防改修事業 西之内川 ほか 9溪流 (護岸工、除石工) ⑧(単)急傾斜地崩壊対策事業 石田地区 ほか 35地区 (擁壁工、法枠工) ⑨砂防施設・急傾斜地災害防止緊急対策事業 花合野川 ほか 19溪流 (堰堤工、護岸工) 鬼山地区 ほか 40地区 (擁壁工、法枠工)	砂防施設の整備により、避難所や避難路、要配慮者利用施設などが保全された。 引き続き、住民の命と暮らしを守るため、砂防施設の整備を着実に進める。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>進捗状況</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土砂災害対策施設整備率 [%]</td> <td>目標値</td> <td>31.1</td> <td>31.5</td> <td>31.8</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>30.3</td> <td>30.5</td> <td>30.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>97.4%</td> <td>96.8%</td> <td>96.2%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	進捗状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	土砂災害対策施設整備率 [%]	目標値	31.1	31.5	31.8	32.1	実績値	30.3	30.5	30.6	-	達成率	97.4%	96.8%	96.2%	-			
	目標指標	進捗状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																					
土砂災害対策施設整備率 [%]	目標値	31.1	31.5	31.8	32.1																						
	実績値	30.3	30.5	30.6	-																						
	達成率	97.4%	96.8%	96.2%	-																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,434,217 (6,739,010)</td> <td>9,695,207 (3,254,665)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	16,434,217 (6,739,010)	9,695,207 (3,254,665)																							
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)																										
16,434,217 (6,739,010)	9,695,207 (3,254,665)																										

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ごと の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
11	生活基盤施設耐震化等交付金事業 (H28 ~) 環境保全課 各水道事業者の整備計画をとりまとめた「大分県生活基盤施設耐震化等事業計画」に基づき、水道施設等の耐震化や老朽化対策等に取り組む市町村を支援する。	①市町村が実施する水道施設等の耐震化、老朽化対策等に対する補助 ・中津市三口浄水場（配水池更新工事） ・宇佐市重要給水施設配水管（旧佐田簡水） ・宇佐市重要給水施設配水管（四日市） ・宇佐市妻垣配水池（配水池築造工事） ・大分市上下水道局施設台帳システムの構築	① 298,226 ③ ② ④	事業計画成果目標の達成率（※） [%]	目標値 - 100.0 実績値 - 100.0	-	100.0	100.0	A	
			主な活動指標と達成率 [%]		達成率 - 100.0%	-	100.0%	-		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>311,971 (13,744)</td> <td>298,226 (298,045)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	311,971 (13,744)	298,226 (298,045)	①施行状況調査 [回]	目標値 12 実績値 12 達成率 100.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 各水道事業者の整備計画に沿って市町村の支援を行い、浄水場などの耐震化が必要な計画対象施設のうち、目標である3施設全てにおいて整備が完了した。 地震等の災害発生時においても安定した給水ができるよう、今後も引き続き、水道施設の耐震化や老朽化対策等に取り組む市町村を支援していく。 ※本指標は、大分県生活基盤施設耐震化等事業計画に記載の各事業が、計画期間内に完了したか評価するもの		
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)									
311,971 (13,744)	298,226 (298,045)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																															
12	漁港施設機能強化事業 (H28 ~ R7) 漁港漁村整備課 異常気象や地震・津波等の災害に対応するため、岸壁の整備など漁港・漁村の機能強化を図る。	①県管理漁港の整備 ・継続：松浦漁港（佐伯市） ②市町村事業への補助 ・継続：泊ヶ内漁港（臼杵市）、元猿漁港（佐伯市）	流通拠点漁港である松浦漁港における岸壁の耐震・耐津波対策の整備を進めた。 なお、本事業は令和6年度で完了予定だったが、建築資材の高騰等により予定していた事業費では、令和6年度中に完了ができなくなったため、国と協議の上、事業終期を令和7年度へ見直した。早期に、地震・津波に対して安定が保たれるよう岸壁などの整備に取り組んでいく。																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>進捗状況</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">岸壁耐震・耐津波対策整備率 (松浦漁港) [%]</td> <td>目標値</td> <td>15.6</td> <td>42.4</td> <td>72.4</td> <td>85.4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>15.6</td> <td>42.4</td> <td>72.4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	進捗状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	岸壁耐震・耐津波対策整備率 (松浦漁港) [%]	目標値	15.6	42.4	72.4	85.4	100	実績値	15.6	42.4	72.4	-	-	進捗率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-						
	目標指標	進捗状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																											
岸壁耐震・耐津波対策整備率 (松浦漁港) [%]	目標値	15.6	42.4	72.4	85.4	100																												
	実績値	15.6	42.4	72.4	-	-																												
	進捗率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額 (うち翌年度繰越額)</th> <th>決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>449,284 (180,000)</td> <td>269,284 (160,482)</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)	449,284 (180,000)	269,284 (160,482)																														
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金)																																	
449,284 (180,000)	269,284 (160,482)																																	

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																									
13	道路施設補修事業 (~) 道路保全課 道路ネットワーク及び交通の安全の確保を図るため、定期点検により早期対策が必要とされた橋梁、トンネル等の補修を行うとともに、緊急輸送道路上にある橋梁の耐震化を計画的に実施する。	①(公)道路施設補修事業：橋梁耐震化・補修、トンネル補修、舗装補修、附属物補修	落橋防止など橋梁の耐震補強や補修、早期対策が必要なトンネルの補修を行った。 今後も、長寿化計画に基づき対策を推進する。																									
		②(単)道路施設補修事業：橋梁耐震化・補修、舗装補修																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施内容</th> <th>要対策箇所数</th> <th>令和5年度対策数</th> <th>令和5年度末対策完了(累計)</th> <th>令和5年度末対策率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">早期対策が必要な橋梁の対策数(橋)</td> <td>417</td> <td>21</td> <td>397</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">早期対策が必要なトンネルの対策数(箇所)</td> <td>96</td> <td>2</td> <td>95</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">舗装補修実施延長(km)</td> <td>—</td> <td>162</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	実施内容		要対策箇所数	令和5年度対策数	令和5年度末対策完了(累計)	令和5年度末対策率	早期対策が必要な橋梁の対策数(橋)		417	21	397	95.2%	早期対策が必要なトンネルの対策数(箇所)		96	2	95	99.0%	舗装補修実施延長(km)		—	162	—	—			
実施内容		要対策箇所数	令和5年度対策数	令和5年度末対策完了(累計)	令和5年度末対策率																							
早期対策が必要な橋梁の対策数(橋)		417	21	397	95.2%																							
早期対策が必要なトンネルの対策数(箇所)		96	2	95	99.0%																							
舗装補修実施延長(km)		—	162	—	—																							
予算額 (うち翌年度繰越額) 18,155,078 (5,814,493)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 12,340,558 (5,655,096) (5,279,911)																											

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
14	住宅耐震化総合支援事業 (H30 ~) 建築住宅課 昭和56年5月以前に着工された木造住宅の耐震性向上等を図るため、耐震アドバイザーを無償で派遣するとともに、耐震診断・改修並びに道路等に面する危険性の高いブロック塀等を所有者が除却する経費を支援する市町村に対し助成する。	①耐震診断・改修に要する経費を支援する市町村に対する助成 ・耐震診断：110件 ・耐震改修：38件 ②耐震アドバイザーの派遣 ・木造住宅：298件 ・マンション：4件 ③ブロック塀等除却に要する経費を支援する市町村に対する助成 ・除却件数：153件 ④耐震キャラバン等の広報啓発	① 13,444 ③ 4,212 ② 5,903 ④ 356	前年度に耐震診断を実施した戸数のうち耐震化計画を策定した割合 [%] 達成率 116.7%	目標値	75.0	75.0	75.0	A
			前年度の耐震診断利用者のフォローアップ率 [%] 戸別訪問実施件数 [件]		目標値 80.0 実績値 90.3 達成率 112.9% 目標値 100 実績値 83 達成率 83.0%	実績値	87.5	75.5	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 25,187 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 23,915 (2,951)	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和4年度に耐震診断を実施した者へのフォローアップ等を行った結果、耐震改修の実施件数は令和4年度同等の補助件数となった。また、能登半島地震を受け、耐震アドバイザー派遣は、令和4年度の実績を大きく上回った。 令和6年度からは、マンション耐震診断費用の助成を行うとともに、市町村と連携し、古い住宅団地への戸別訪問や耐震キャラバンや土木建築フェスタなど様々な場面でPRを行い、住宅の耐震化の促進を図る。						

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ご と の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
15	特定建築物等耐震対策促進事業 (H26 ~) 建築住宅課 耐震診断が義務付けされた5,000㎡以上の特定建築物の耐震化を促進するため、耐震改修等に要する経費に対し助成する。	①要緊急安全確認大規模建築物耐震化事業 ・施設所有者に対する指導、助言の実施：6施設	① 19 ③ ② ④	耐震改修済み若しくは事業計画策定・見直し棟数 [累計：棟] 達成率 96.2%	目標値	26	26	26	B
			改修計画がある各事業者への聞き取り・協議件数 [件]		目標値 20 実績値 20 達成率 100.0%	実績値	25	25	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 44,920 (0)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 19 (0)	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 当初、令和5年度に改修工事を計画していた施設について、計画の見直しにより、令和6年度から改修工事を行うこととなった。 引き続き、事業者へ適切な聞き取りを行うとともに、特に改修計画が定まっていない1施設に対する指導等を実施し、早期の計画策定による耐震化の促進を図る。						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
16	衛星画像活用水道管漏水調査支援事業 (R5～R5) 環境保全課 市町村が行う上水道の漏水調査を効率化し、漏水率の改善及び水道の基盤強化を図るため、衛星画像を用いた水道管の漏水判定を実施する。	①衛星画像を活用した水道管の漏水判定委託 県内市町村営水道を対象に、衛星画像を活用して漏水疑いのある管路の絞り込みを実施	① 98,780 ③	市町村水道漏水調査実施率 目標値 実績値 達成率 [%]	目標値		20.0		A	
			②		④	実績値		42.0		
			主な活動指標と達成率		達成率		210.0%			
			調査対象水道管の削減率	目標値 80.0 実績値 83.0 達成率 [%] 103.8%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内市町村営水道を対象に、衛星画像を活用した漏水疑い管路の判定を行うことで、市町村における聴音調査の範囲を絞り込むことができ、調査業務の効率化及びコスト削減に資することが実証できた。 この成果をもとに、今後は市町村が主体となって適切な保守による水道施設の長寿命化、基盤強化を図っていくことから、本事業は終了する。					
			予算額 (うち翌年度繰越額) 98,780 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 98,780 (24,695)							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
17	安全・安心を支えるインフラ点検事業 (H28～) 建設政策課 社会経済活動や暮らしの基盤となる社会インフラの信頼性ととも県民の安全・安心を確保するため、県が管理する公共土木施設のうち、施設の損傷等により利用者等への直接被害が想定される施設の点検業務を確実に実施する。	①港湾施設の岸壁、橋梁、防波堤の点検 岸壁：103件 橋梁：4件 防波堤：58件 (338件) (19件) (209件) ②河川堤防・樋門の点検 堤防：77km 樋門：202件 (231km) (576件) ③道路の自然斜面の点検等 道路斜面：204件 (706件)	① 13,869 ③ 5,363	社会インフラ施設の2巡目点検率 目標値 実績値 達成率 [%]	目標値	43.0	65.7	93.8	A
			② 6,858 ④		実績値	49.1	72.1	—	
			主な活動指標と達成率		達成率	114.2%	109.7%	—	
			港湾施設点検数	目標値 538 実績値 566 達成率 [%] 105.2%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 施設点検は5年サイクルで行っており、令和5年度は計画どおり点検業務を実施することができた。特に、港湾施設については、緊急性が高いものを中心に、県職員による点検を前倒して実施したため、目標を上回った。 引き続き、2巡目点検（令和3～7年度）を計画的に実施し、社会インフラの信頼性および県民の安全・安心の確保に努める。				
			河川堤防点検距離	目標値 231 実績値 231 達成率 [%] 100.0%					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
18	地域の安心基盤づくりサポート事業 (H28～) 建設政策課 生活環境の保全、集落の活動能力の維持向上を図るため、河川、砂防、港湾施設などを対象に倒木や流木等の除去や施設の補修などを行うとともに、住民の地域活動支援のため、作業環境の整備や資機材貸与などを行う。	①河川、砂防、港湾施設等に対する県民からの要請への対応 ・倒木・流木等の除去 ・管理道や臨港道路の陥没やポットホール等の補修 ・側溝等の排水施設の清掃 ・地域活動の支援となる階段や作業道等の整備 ・その他小規模な構造物の補修 など	① 82,000 ③	県民の要請に対する対応率 目標値 実績値 達成率 [%]	目標値	80.0	80.0	80.0	A	
			②		④	実績値	87.3	89.4		—
			主な活動指標と達成率		達成率	109.1%	111.8%	—		
			県民からの要請への対応件数	目標値 604 実績値 598 達成率 [%] 99.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「1時間以内の現場到着」「相談対応方針の1日以内の回答」を目指して、県民からの通報や要請に対応するとともに、地域における環境保全活動への支援を一体的に行うことで、地域の安全・安心を推進することができた。 今後も地域に安心して住み続けられるよう、河川等の倒木・流木の除去などを業者と連携して行うとともに、ボランティア等の地域活動を支援するため作業環境の整備や資機材貸与に努める。					
			予算額 (うち翌年度繰越額) 82,000 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 82,000 (0)							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-8-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針						
19	<p>港湾施設点検ドローン活用推進事業 (R4 ~ R6) 港湾課</p> <p>目視による点検に時間と労力を要する沖防波堤等の点検の迅速化・効率化を図るため、ドローンの撮影画像をA Iで解析する実証実験を行う。</p>	<p>①ドローンによる港湾施設点検の実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖防波堤において、ドローン撮影画像からA I解析による施設の変状の確認 ・人による目視点検結果とドローン点検結果の比較 	<p>沖防波堤を対象にドローンの撮影画像をA Iで解析し、施設の変状を確認する実証実験を行うとともに、人による目視点検結果との比較を行い、有効性の検証を行った。</p> <p>令和6年度はドローンによる港湾施設点検の実装に向け、点検調書を自動作成するシステムの構築や点検マニュアルの作成、職員を対象とした実務研修の実施等を行い、点検の迅速化・効率化を図る。</p>						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align:center;"> 予算額 (うち翌年度繰越額) </td> <td style="width:50%; text-align:center;"> 決算額 (うち国庫支出金) </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">7,000</td> <td style="text-align:center;">6,999</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">(0)</td> <td style="text-align:center;">(0)</td> </tr> </table>	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	7,000	6,999	(0)	(0)		
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)							
7,000	6,999								
(0)	(0)								